

まちづくりの目標と方向性

地域別まちづくりの方向性

これからのまちづくりは、南島原市としての一体感の醸成を図ることや、これまで築き上げられた地域の特性（個性）を最大限に生かしたまちづくりが重要です。

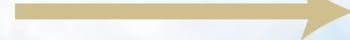
そこで、各地域の特性に応じた地域別のまちづくり（顔づくり）の基本的な方向性を示します。

陸の玄関口と大地の力体感ゾーン

深江町から布津町付近にかかる一帯を「陸の玄関口と大地の力体感ゾーン」と位置づけます。この地域では、島原半島を訪れる観光客等を誘引する玄関口としてのまちづくりを進めます。また、土石流被災家屋保存公園や大野木場砂防みらい館などの体感施設や災害復興による力強い発展が見られる地域であることから、自然の力を体感し生命の尊さや自然の驚異を学ぶことができるまちづくりを進めます。



交流軸（コミュニティライン）



海に開かれた癒しのゾーン

口之津町から加津佐町付近にかかる地域を「海に開かれた癒しのゾーン」と位置づけます。この地域の海岸線の風景には目をみはるものがあり、美しい自然海岸での海水浴やキャンプなど、ブルーツーリズムの拠点としてのまちづくりを進めるほか、天草地域などとの交流を深める「海の玄関口」としてのまちづくりを進めます。

歴史文化と芸術ゾーン

北有馬町から南有馬町付近にかかる一帯を「歴史文化と芸術ゾーン」と位置づけます。この地域には、世界遺産暫定一覧表に登載された原城跡や日野江城跡など数多くの歴史的遺産が残されていることから、これらの歴史文化資源を活かしたまちづくりを進めます。また、日本を代表する彫刻家である南有馬町出身の北村西望にちなんだ芸術の薫り漂うまちづくりを進めます。



地場産業振興と市民交流ゾーン

有家町から西有家町付近にかかる一帯を「地場産業振興と市民交流ゾーン」と位置づけます。この地域には、本市を代表する地場産業であるそうめん産業や商工業関連の事業所が集積していることから、地場産業の活性化を図るまちづくりを進めます。また、市役所本庁舎など一定の公共施設が集積していることから、全市的な市民交流を図るまちづくりを進めます。



自然環境

豊かな自然環境をかけがえのない地域の財産として守り育てることを基本に、ごみの減量化など環境にやさしい生活スタイルの確立を図ります。また、自然環境に対する意識の高揚を図るため環境学習などを進めます。



郷土文化

世界遺産暫定一覧表に登載されている原城跡や日野江城跡、吉利支丹墓碑の世界遺産登録へ向けた取り組みを強化するとともに、各地域に残された郷土文化を市民の手で守り育て、内外に向けて発信します。また、市民主体の地域おこし活動を積極的に支援します。



産業経済

地域経済と雇用環境を支える元気な産業を創出するため、農業基盤整備や人材育成（後継者育成）、新商品開発、販路拡大、情報発信などの多様な支援に取り組みます。また、自然や歴史、農水産業などを活かした“南島原版の体験型観光”を振興します。



健康福祉

年代に応じた主体的な健康づくりを支援するとともに、家庭・地域・行政・事業所が一体となった子育てサービスや高齢者福祉・介護サービスを提供します。また、どんな時でも安心の医療が受けられる地域医療体制づくりを進めます。



人づくり

家庭・地域・学校が一体となり、子どもたちの確かな学力と豊かな心を育てる教育環境を整えます。また、市民協働のまちづくりを担う、各種のまちづくり人材（リーダー）の育成に努めます。さらに、全ての市民が生きがいを持って暮らすことができるよう、生涯学習・生涯スポーツの振興を図ります。



安心安全

風水害や地震、噴火災害、交通事故、犯罪等から尊い生命と財産を守るため、関係機関と地域が一体となった防災・防犯・交通安全体制づくりや基盤整備、情報発信等を進めます。また、架空請求などの消費者トラブルを未然に防ぐ対策を強化します。



基盤整備

地域高規格道路をはじめとする道路網の整備と公共交通機関の利便性向上に努め、便利で快適な交通環境をつくり出します。また、高度情報社会に対応した情報ネットワーク基盤の整備を進めます。さらに、公園・緑地・住宅整備をはじめとする快適な住環境づくりに取り組みます。



協働行政

市民の声を市政に活かす仕組みづくりなど、市民協働のまちづくりを進めます。また、家庭や地域、職場などのあらゆる場における人権尊重と男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを強化します。さらに、積極的な行財政改革を進め、質の高い行政サービスの提供と健全な財政基盤の構築を図ります。

